

CIPA REPORT Web 版について

一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA)でまとめているデジタルカメラ及び銀塩カメラ並びにこれらに関連する映像関連機器に関する統計データを集約して掲載した。

2009年まで発行した書籍版「日本のカメラ産業 (CIPA REPORT)」に替えて電子データ版としたもので、毎月、定例で実施している月次出荷統計を一覧しやすい年計版によって補完することを目的とする。

ご利用上の注意

1. 資料は、随時更新を行い、公表している最新年次のものを収録する。
2. 資料によっては、各月の年間累計と年計調整値が一致しない場合がある。
3. 単位未満の四捨五入によって合計と内訳が一致しない場合がある。
4. 出典としてカメラ映像機器工業会(CIPA)とあるものの内 2002年5月までは日本写真機工業会(JCIA)統計、それ以降は CIPA 統計に依っている。

カメラ映像機器工業会(CIPA)統計

1. 統計対象は、カメラ映像機器工業会(CIPA)会員の統計参加会社。
2. 1975年より会員の「海外生産分」が、生産、出荷に含まれる。また、会員の OEM 調達分を含む(会員企業間で OEM 供給している場合、ダブルカウントが無いように調整)。
3. 生産金額は工場出荷価格に生産台数を乗じて算出した金額。
4. 出荷金額は FOB 価格に出荷台数を乗じて算出した金額(日本向けは日本国内販社がある場合、国内税抜き売り渡し価格、無い場合はそれに相当する価格)。
5. デジタルスチルカメラ統計は、1999年より開始。銀塩カメラ・カメラ用交換レンズ統計は、1951年より開始。A4 未満フォトプリンター統計は、2004年より開始。
6. CIPA 統計にある記号は下記の区分による。

0 印：単位未満

－印：実績のないもの

N.A.：データ無し

7. 統計上の分類は、市場の変化に伴って、統計作成上の規則や調査票見直し等によって変更する場合があります。

2011年1月より、レンズ交換式デジタルカメラ商品群の多様化に対応して、区分呼称を下記の通り変更した。

●デジタルスチルカメラ統計

レンズ交換式一眼レフタイプ ⇒ レンズ交換式

●交換レンズ統計

一眼レフ用交換レンズ ⇒ レンズ交換式カメラ用レンズ

デジタル専用 ⇒ 35mm 未満のフォーマット用

※その他、関連表現の変更を行った。

2012年1月より、新区分の統計を開始した。

●デジタルスチルカメラ統計のレンズ交換式

「一眼レフ」「ノンレフレックス」の2区分とした。

「ノンレフレックス」は、レンズ交換式の内、光学ファインダーに像を導くミラーを搭載しないもので、具体的には、いわゆる「ミラーレス」「コンパクトシステムカメラ」、レンズ交換式のレンジファインダー、カメラユニット交換式等を計上する。

なお、上記新区分は、2011年7-9月累計及び同10-12月累計から実施している。

カメラ関係品目の統計上の分類

※ CIPA 統計におけるカメラ関係品目の分類を示すと次の通りになる。

● デジタルスチルカメラ

- ① レンズ一体型
(ほとんどがコンパクトデジタルカメラ)
- ② レンズ交換式
一眼レフ、ノンレフレックスの2区分に大別する。
ノンレフレックスは、レンズ交換式の内、光学ファインダーに像を導くミラーを搭載しないもので、具体的には、いわゆる「ミラーレス」「コンパクトシステムカメラ」、レンズ交換式のレンジファインダー、カメラユニット交換式等を計上する。

● 銀塩カメラ

- ① フォーカルプレキシッター
(ファインダーの型式を問わない。ほとんどが一眼レフカメラ)
- ② レンズシャッター
(ハーフカメラを含むものとし、ファインダーの型式を問わない。いわゆるコンパクトカメラ)
- ③ 中・大判
(ブローニー(120,220)フィルム及びシートフィルムを使用するカメラ)
- ④ その他
(前記①、②、③に分類されない銀塩カメラ。110、ディスク等を含む。ただし業務用カメラを除く)

● カメラ用交換レンズ

- ① レンズ交換式用
 - 1)35mm用(銀塩カメラ及びデジタルカメラのレンズ交換式カメラ用にて35mmをカバーするレンズ)
 - 2)35mm未満のフォーマット用(35mm未満のフォーマットのレンズ交換式カメラ用)
- ② 中・大判カメラ用
中大判カメラ用の交換レンズ。

● A4未満フォトプリンター

2010年4月より、PictBridge搭載機種に加えてPictBridge非搭載機種も集計対象とする。